

Title	中村勝己名誉教授著作目録
Sub Title	A bibliography of the writings of Prof. Katsumi Nakamura
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1990
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.82, No. 特別号-II (1990. 3) ,p.272- 275
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	中村勝己教授退任記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19900302-0272

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

中村勝己名誉教授著作目録

著書

- 〔Ⅰ〕『アメリカ資本主義の成立』日本評論社、1966年。
- 〔Ⅱ〕『アメリカ資本主義論』未来社、1971年。
- 〔Ⅲ〕『近代文化の構造』筑摩書房、1972年。
- 〔Ⅳ〕『一般経済史』慶應義塾大学通信教育教材、1976年。
- 〔Ⅴ〕『一般経済史』筑摩書房、1978年。
- 〔Ⅵ〕『内村鑑三と矢内原忠雄』リプロポート刊、1981年。
- 〔Ⅶ〕『現代社会の歴史構造——経済史家の見た後進国問題——』リプロポート刊、1984年。
- 〔Ⅷ〕『経済的合理性を超えて』みすず書房、1989年。

共著

- 「アメリカ」（小松芳喬・高村象平編『西洋経済史』世界書院、355～426頁）1965年。
- 「資本主義的工業化の史的展開」（伊東岱吉・小林義雄・加藤誠一編『工業経済論』有斐閣、第二講）1956年。
- 「日本の『近代化』」（慶應義塾経済学会編『日本経済の近代化』東洋経済新報社、20～27頁、〔Ⅵ〕所収、3～27頁）1967年。

編著

- 矢内原忠雄『キリスト者の信仰』全8巻、岩波書店、1981年12月～1982年7月。
- 矢内原忠雄未発表聖書講義『イザヤ書・ミカ書』新地書房、1984年。
- 矢内原忠雄『戦時講演集』（上）「新年松本講演」新地書房、1989年。
- 中村勝己編『受容と変容——近代日本の経済と思想——』みすず書房、1989年。
- 中村勝己編『マックス・ウェーバーと日本』みすず書房、1990年春予定。

論文・研究ノート・学界展望・書評・座談会・講演

（発表順。講演のうち、印刷されたものは刊行順に、未発表分は講演年月日の順とする。既刊の著書に収録されたものは、〔 〕頁数で示した。）

- 「アメリカ産業資本の形成——鉄工業の性格と系譜——」『三田学会雑誌』第42巻第7・8合併号〔Ⅱ〕所収、231～267頁）1949年7・8月。
- 「ハミルトンとアメリカ工業——『製造工業報告書』を中心として——」『社会経済史学』第17巻第4号〔Ⅱ〕所収、102～125頁）1951年4月。
- （書評）「小林昇著『フリードヒ・リスト研究』」『社会経済史学』第17巻第5号、1951年11月。
- 「アメリカ植民地工業の歴史的形態」『三田学会雑誌』第46巻第11号（全面的に書改め〔Ⅰ〕所収、112～140頁、および〔Ⅲ〕所収、80～101頁）1953年11月。
- 「経済学者の話（Ⅸ） マルチン・ルター——変革期の思想家——」『三色旗』第68号、11～15頁、1953年11月。
- 「アメリカにおける土地投機の一研究——Holland Land Company の場合——」『三田学会雑誌』第50巻第1号〔Ⅱ〕所収、277～298頁）1957年1月。
- 「アメリカ産業革命と商業資本」『三色旗』第114号、1957年9月。
- 「アメリカ産業革命の歴史的特質——商業資本転化の歴史的意義をめぐって——」『三田学会雑誌』第51巻第5号〔Ⅰ〕所収、大幅に加筆して第2章収録、164～263頁）1958年5月。

- 「アメリカ農村工業の成立」慶應義塾経済学会『経済学年報』(2), ([I] 所収, 264~313頁) 1959年1月。
- 「17世紀末ニュー・イングランドの一タウンについて——サフイーロード(マサチューセッツ)の場合——」『三田学会雑誌』第52巻第10号([II] 所収, 29~68頁) 1959年10月。
- 「植民地アメリカの土地問題」増田四郎・小松芳喬・高村象平・矢口孝次郎編『社会経済史大系』IV IV近世後期(1), 弘文堂, ([I] 所収) 1960年6月。
- 「社会・職業・学生」『東京独立新聞』第3号, 1960年7月。
- (書評)「経済発展の宗教社会学——柳父徳太郎著『国際関係と経済倫理』——」『東京独立新聞』第16号([VI] 所収, 345~351頁) 1961年8月。
- 「経済学のはなし・資本主義」『東京独立新報』第16号, 1961年8月。
- 「経済学のはなし・独占」『東京独立新聞』第17号, 1961年9月。
- 「経済学のはなし・日本の独占資本」『東京独立新聞』第18号, 1961年10月。
- (書評)「武田清子編『思想史の方法と対象——日本と西欧——』『東京独立新聞』第22号, 1962年2月。
- 「独立戦争期ニュー・ヨークの土地問題——王党派財産の売却をめぐる——」『三田学会雑誌』第55巻第7号([I] 所収, 55~77頁) 1962年7月。
- (座談会)「植民政策学者および教育者としての矢内原先生」『東京独立新聞』第33号, 1963年1月。
- (対談) 中村勝己・矢内原勝・(司会) 坂井基始良「民族主義と後進国開発の問題」『東京独立新聞』第51号, 1964年7月。
- 「内村鑑三と現代」『東京独立新聞』第48号, (「現代日本と内村鑑三」と改題し, 加筆の上[IV] 所収, 65~70頁) 1964年4月。
- (書評)「朝鮮及び中国関係論文に就て——『矢内原忠雄全集』第4巻——」『東京独立新聞』第44号, 1963年12月。
- (書評)「南原繁・大内兵衛・大塚久雄他監修・編纂『矢内原忠雄全集』(経済学篇第1~5巻)」『三田学会雑誌』第57巻第3号(加筆訂正のうえ[VI] に収録, 176~193頁) 1964年3月。
- 「19世紀初頭におけるアメリカ工業——ランチ・コックス『工業調査』を中心にして——」『三田学会雑誌』第57巻第4号([II] 所収, 168~198頁) 1964年9月。
- 「経済と宗教——柳父徳太郎記念講演——」『フレンド学園講堂』([VII] 所収, 333~344頁) 1964年6月。
- 「ニュー・イングランドの一タウンの新研究」『社会経済史学』第30巻第1号([II] 所収, 69~79頁) 1964年12月。
- (書評)「ポール・マントゥ『産業革命』」『三田学会雑誌』第58巻第2号, 1965年2月。
- (学界展望)「日本の近代化」『三田学会雑誌』第58巻第6号, 1965年6月。
- (新刊紹介)「沢崎堅造著『キリスト教経済思想史研究』——ルーテル・カルヴァン・聖トマス・アウグスチヌス研究——」『三田学会雑誌』第58巻第6号, 1965年6月。
- (書評)「安藤英治『マックス・ウェーバー研究』」『図書新聞』842号, 1966年1月22日。
- 「19世紀初頭ロード・アイランドの社会的分業=市場構造」一橋大学『経済研究』第17巻第1号([II] 所収, 199~230頁) 1966年1月。
- 「アジア平和の現実的基礎」『東京独立新聞』第69号([VI] 所収, 303~313頁) 1966年1月。
- (学界展望)「資本主義精神論——サムエルソン『宗教と経済活動』を中心にして——」『三田学会雑誌』第59巻第2号, 1966年2月。
- (研究ノート)「日本の『近代化』」『経済評論』第15巻第7号, 1966年6月。
- 「19世紀前半ニュー・イングランド南部の社会的分業=市場構造」『社会経済史学』第32巻第3号([II] 所収, 215~230頁) 1966年8月。
- 「現代社会とキリスト教」『聖書の日本』第363号([VI] 所収, 316~329頁) 1966年9月。
- (学界夜話)「経済発展と土地改革」『経済評論』第15巻第13号, 100~101頁, 1966年11月。

- (学界夜話)「『近代化』と知識人」『経済評論』第15巻第14号, 118～9頁, 1966年12月。
「日本の『近代化』」慶應義塾経済学会編『日本経済の近代化』東洋経済新報社, 20～27頁(〔VI〕所収, 3～27頁)1967年。
- (学界夜話)「戦後の経済史学」『経済評論』第16巻第2号, 122～123頁, 1967年2月。
「日本社会とキリスト教」『東京独立新聞』第83号(〔VI〕所収)1967年3月。
「比較経済史学とアメリカ資本主義」『三田学会雑誌』第60巻第6号, 1967年6月。
「比較経済史学の課題」『三田学会雑誌』第60巻第6号(〔II〕所収)1967年6月。
「アメリカ資本主義の特質」(高橋幸八郎・古島敏雄編『近代化の経済的基礎』——大塚久雄教授還暦記念論文集(Ⅰ)——, 岩波書店, 1968年4月。
「日本の『近代化』について」『大学キリスト者』第33号(〔VI〕所収, 30～42頁)1968年。
「植民地ニュー・イングランドの一タウンについて——サフィールド(マサチューセッツ)の場合——」『三田学会雑誌』第62巻第10・11号(〔II〕所収, 69～79頁)1969年10・11月。
「アメリカ西漸運動」『三田学会雑誌』第63巻第3号(〔II〕所収, 268～277頁)1970年3月。
「ハミルトン保護主義の一考察」『土地制度史学』第49号(〔II〕所収, 126～167頁)1970年11月。
「イギリス産業革命とアメリカ資本主義」『三田学会雑誌』第64巻第8号, 1971年8月。
- (研究ノート)「英米経済史学界の動向」『三田学会雑誌』第67巻第2・3号, 1974年2・3月。
「アメリカ産業革命」都留重人・本田創造・宮野啓二編『アメリカ資本主義の成立と展開』岩波書店, 141～163頁, 1974年。
「イギリスの印象——一つの市民社会論——」『三色旗』第329号(〔VI〕所収, 371～384頁)1975年8月。
- (誕生書架)「一般経済史」『三色旗』第333号, 19～23頁, 1975年12月。
「坂井さんを送る」『東京独立新聞』第191号(〔VI〕所収, 353～357頁)1976年3月。
「断想」『塾』7号(「現代の学問と大学」と改め〔VI〕所収, 359～370頁)1976年3月。
「ヨーロッパ音楽とキリスト教——バッハを中心として——」『バッハ全集』第3巻解説, 筑摩書房(〔VI〕所収, 385～406頁)1976年6月。
- (テキストの周辺)「一般経済史」『三色旗』第346号, 25～27頁, 1977年1月。
「内村鑑三と現代」『内村鑑三研究』第11号(〔VI〕所収, 71～94頁)1978年10月。
「矢内原忠雄と経済学」(今井館聖書講堂における公開連続講義)(〔VI〕所収, 195～299頁)1979年1月12日, 1月19日。
- (こよみ)「チェルシーの六月」『三色旗』第375号, 1979年6月。
- (研究ノート)「近世初期イギリス『ビュウリタニズム』の研究——近世イギリス思想史研究序説——」『三田学会雑誌』第73巻第2号, 1980年4月。
(研究ノート)「ビュウリタニズムの検出——近世イギリス思想史研究序説(二)——」『三田学会雑誌』第73巻第3号, 1980年6月。
- (ある日の教室)「野村兼太郎先生の授業」『慶應義塾大学報』第112号, 1980年6月。
「内村鑑三の経済倫理」(未発表)(〔VI〕所収, 95～172頁)。
- (書評)「鈴木圭介著『アメリカ経済史の基本問題』」『社会経済史学』第47巻第2号, 103～106頁, 1981年。
(提言)「自律的・内発的学習を」『塾』第19巻第3号, 1981年3月。
(経済学論文の書き方)「学生論文とは何か」『経済セミナー』No. 319, 1981年8月。
「経済と人間」『中村研究会20周年記念論文集』(全面的加筆の上〔VII〕所収, 11～34頁)1982年。
- (対談)「卒業論文」(塾商学部会田義雄教授との対談)『塾』第20巻第1号, 1982年。
「民族と平和のために」富田和久『おとずれ』第70号(〔VII〕所収, 117～131頁)1982年1月。
「鈴木俊郎さんのこと」『三田評論』1982年5月。
- (論説)「17世紀ケントの社会と経済(上)——近世イギリス思想史研究序説(3)——」『三田学会雑誌』第75巻第3

- 号, 1982年6月。
- 「弟子の一致と不一致」『東京独立新聞』第279号, 1983年7月。
- 「松浦正夫君を天おくる」『東京独立新聞』第285号（『松浦正夫の面影』所収, 225～227頁, 1985年）1984年1月。
- （講義覚え書）「講義の生命」『塾』第22巻第1号, 1984年1月。
- 「エゼキエル書講義のころ」（矢内原忠雄未発表聖書講義『エゼキエル書』月報, 新地書房）1984年3月。
- 「自由ヶ丘のころ——『矢内原忠雄未発表聖書講義』刊行に思う——」『毎日新聞』1984年12月12日夕刊。
- 「現下の国際経済と日本経済の将来」（農林水産省林業試験場における講演, 1985年10月28日。全面的加筆のうえ「経済的合理性をこえるもの」と題して〔Ⅶ〕所収, 35～113頁）。
- 「大正デモクラシーにおける二つの自由——内村鑑三を中心として——」（福沢研究センター主催連続講談「大正期の思想家群像」『三田評論』第864号）（〔Ⅶ〕所収, 185～215頁）1985年11月。
- 「経済発展と経済人」慶應義塾福沢研究センター『近代日本研究第2巻（〔Ⅶ〕所収, 219～266頁）1985年。
- （書評）「田島恵児『ハミルトン体制研究序説』」『青山経済論集』第37巻第4号, 1986年3月。
- 「社会科学とキリスト教」富田和久『おとづれ』第74号（〔Ⅶ〕所収, 161～179頁）1986年7月。
- 「現代とキリスト教」『東京独立新聞』第333号, 1987年3月。
- 「『悲哀の人』から『宗教改革論』へ」（矢内原忠雄東大辞職50年記念キリスト教講演会, 1988年1月17日, 東京・山手教会（〔Ⅶ〕所収, 146～160頁）。
- 「慶應義塾建学の精神」『塾生案内』（2）1989年版, 1988年。
- 「レスターシャーのビューリタニズム(1)」『三田学会雑誌』第81巻第1号, 1988年4月。
- （一冊の本との出会いを求めて）「生きかたを決めた, 病床での二冊の本」『朝日ジャーナル』創刊30年記念, 1988年7月15日。
- 「『近代』日本とキリスト教——内村鑑三と矢内原忠雄——」（仙台市戦災復興会館における公開講演, 1989年3月26日, 『青葉通信』第9号に掲載予定）。